

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り 第41号

認定非営利活動法人 森林の風
会長瀧口邦夫/令和3年11月発行



今年も春、夏とインターンシップの学生を受け入れました。写真は、彼らの活動の様子です。

第41号
ラインナップ

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・2021年秋号ご挨拶 | ② |
| ・「2021年度 レベルアップ講座」報告～西山商会他視察 | ② ③ |
| ・特別寄稿「インターンシップ報告」 | ④ |
| ・御在所岳植樹報告・GOGO植樹について | ⑤ |
| ・森林の風 観察報告 | ⑥ |
| ・2022まちのきこり人育成講座のお知らせ | ⑦ |
| ・認定NPO法人森林の風からのお知らせ | ⑧ |
| ・森林の風現在の状況 | ⑧ |



森林施業 認定NPO法人



連絡先／〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088

菰野事業所／〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。



2021年 秋号ご挨拶

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口 邦夫

コロナ禍で2年が過ぎようとしている。長いようで短い感じがした。この期間に森林再生について林業とは？を考えてみた。スギ、ヒノキを中心とした人工林施業が殆どの意味に聞こえている。この数十年間大きな変化



は見えない。認定NPOとして、次のステップを見つけようと思い「土壤流出のない森林づくり」と「有用広葉樹の人口林」と答えが出た。

①あなたは森の奥に入って下層植生がなく瓦礫の森の山林を見たことがありますか？

②生活の基本であった蠟燭、漆、家具、紙、などの有用広葉樹が消えようとしていること？

今原点に戻り、100年前の林業に指導を受けたいと考える。「択伐のなすび切り」「針広混交林の植栽」「横置き伐採による土壤や埋没種子の流出防止」「山林を荒らさない架線搬出」など未来に残したい日本の林業技術がある。実践林業の林業家と机上理論の行政間でのコミュニケーション不足を指摘したい。実践と机上の両輪がかみ合うことを期待しよう。

最後に、行政の助成金、補助金がなかったらどのような森林環境になっていただろう。

「2021年度 第1回 レベルアップ研修会」報告



片刃鉈の製造過程



両刃鉈の製造過程

西山商会を訪ねて 上林 光伸

8月の6日、7日の二日間で、高知県を訪れ土佐打刃物の製造元である西山商会、牧野植物園そして千本山風景林の魚梁瀬杉を訪ねました。



1日目、西山商会と牧野植物園

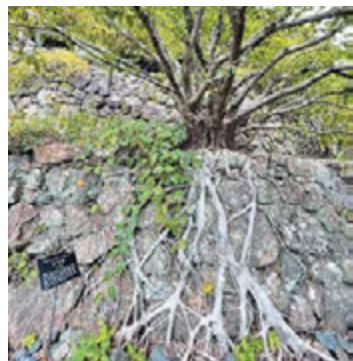
西山商会は、400年以上の伝統を持つ土佐打刃物の製造元。刃物は、農業用（鋤、鎌、砥石、鉈）・森林業・造園業用（鋤、鋸、鎌、鉈、斧、鳶）・狩猟用（鉈・ナイフ）などです。社内の展示コーナーには、片刃、両刃鉈の製造工程がわかる展示がされていて、詳しく説明していただきました。



写真では、分かりづらいですが、片刃の場合はハガネを合わせて打ち付けるのですが、両刃の場合は挟み込むように打ち出します。この写真は、翌日訪問した鍛冶屋さんでの打ち出し風景です。



2日目、西山商会の鍛冶屋、牧野植物園そして魚梁瀬杉など



最初に、上記写真の鍛冶屋さんの見学に行きました。狭い工場の中そして真夏でかつ炉の熱を受けながらひたすら打ち出しの作業をしていました。大変な仕事です。写真では、高齢の職人さんが作業をしていますが、後継

者も育っているとのことでした。その後、慌てて牧野植物園に出かけましたが、大変広大な敷地の植物園で次の行程のため短いルートを見学し再度訪問することとしました。いつになるかはわかりません。

午後、牧野植物園を後に一路千本山魚梁瀬杉へ



長距離移動の強行軍でしたが樹齢約300年、樹高54m、幹回り6.8mの巨大杉は圧巻でした。この辺りは、林野庁にて千本山風景林と指定されています。写真は、ちょうど登山口に入ったところですが、その奥にも数十本の巨木の森がつづいていました。写真でもわかるよう

に、倒れた倒木や切り株にはコケなどが覆い豊かな林森を実感させてくれました。あっという間に時間が流れ、夕闇が迫ってきたのでこの地を後にすることにしました。もう一度訪れたい森林でした。

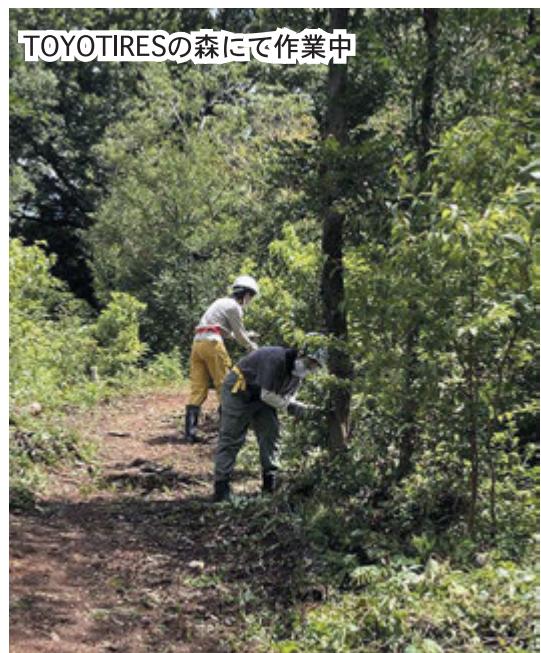
特別寄稿

春に引き続きインターンシップの学生を受け入れました。今回はどんな思いを持って参加したのか、得るものは何だったのか、とても気になります。そこで前回同様、寄稿をお願いしました。



三重大学生産資源学部
インターン生 内藤 綾音

今年の8月から9月までインターンシップとして「森林の風」の活動に参加させていただき様々な経験をしました。私は大学で森林資源環境学教育コースに入っており今まで講義を受けてきましたが、昨年からのコロナ禍の影響により実習を延期または活動内容の縮小を余儀なくされ実践的な経験はほとんどありませんでした。インターンでの活動はチェンソーや刈り払い機の扱い方、企業と管理している雑木林にある遊歩道の整備、県の森林の管理などがありました。



私の中で特に印象に残ったのは「TOYO TIRESの森」での活動でした。元々私が森林について学びたいと考えたきっかけが、実家が所有しているが放置したままの雑木林を自分で整備・利用できないかと思ったことでした。大学の演習林には天然林と人工林がありますが 人の生活圏のすぐそばにある森林とは違うものなので「TOYO TIRESの森」のような雑木林の整備は私が学びたかったものに近く興味深いものでした。

歩道を作る際には木の根を張る方向を考えていたり 日光が過剰に入り木にダメージを与えることなど、この活動を行う前までは考えたことのなかった「施業をした後に木にどんな影響が出るか、より良い状態でどうやって維持していくか」を知ることができました。

インターンの期間は終わってしまいましたが、将来自分の林を良いものに変えられるように 森林の風と 大学の双方で知識を増やしていきたいと思います。



チェンソーを手にインターン生整列



植生調査

御在所岳植樹事業について



1. 御在所岳(山上公園)植樹体験



10月9日(土曜日)、御在所岳山上公園にて植樹体験が行われました。この事業は三重県から御在所ロープウェイが受託し、森林の風が植樹地の整備、苗木(御在所岳産のミズナラ)の提供および植樹指導を行いました。10組27名の参加があり、約100本の植樹

活動と合わせて寄せ書き看板への名前書きをしていただきました。参加者の中には小学生のお子さんもいて、彼らが大人になる10年後の山頂はどうなっているのかとても楽しみです。また、この事業は、「みえ森と緑の県民税」を活用して実施されました。

2. 御在所岳 三十三銀行植樹活動



10月9日(土曜日)、御在所ロープウェイの植樹イベントに合わせて、三十三銀行の植樹活動が行われました。こちらも御在所岳産のミズナラの苗木約100

本を植栽しました。写真の様に御在所ロープウェイとの二つのパッチディフェンスが並んで設置され、合わせて200本の植樹をしたこととなりました。

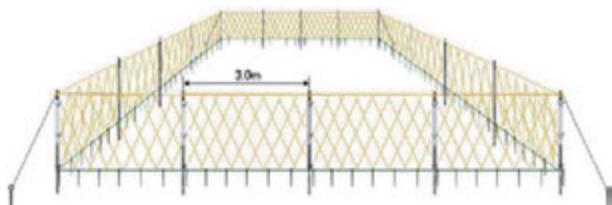
御在所岳頂上植樹<“5500本 GOGO植樹”プロジェクト>のご案内

三重県北部に位置する標高1,200mの名峰「御在所岳」は、モミジ、ミズナラ、シロモジ、ヤシオツツジ、ドウダンツツジなどが新緑や紅葉、花が美しく、四季を通じて親しみ楽しめています。しかし近年では、山頂付近にいるはずのカモシカが麓に追いやられるほどシカが増加し、シカの食害である樹皮を剥いで樹木が枯死する大きな被害が出ています。森林の風では2010年より、国定公園内である現地において、三重県の許可を得て採取した種子や苗を育て環境回復

を目的とした植樹活動を行っています。それには多くの時間と費用が必要です。この活動は企業及び個人の皆さんのご寄付によって成り立っています。苗木の育成・植樹費用として1口3,000円より寄付を募集しております。ご協力よろしくお願いします。また、アプライドマテリアルジャパン(株)様からの寄付金は、このプロジェクトに使わせていただいております。

森林の風 観察報告

■パッチディフェンスの効果について



パッチディフェンスイメージ図

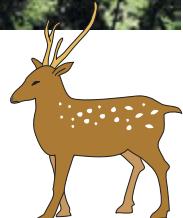
パッチディフェンスとは鹿の食害から苗木等を保護するネット柵で、高さ1.8m、一辺の長さ約12mの四角形で囲まれたものです(下イメージ図参照。)。

設置するときの形状は、その場所の傾き、地形に合わせ長方形や台形にします。

森林の風では、今までに、菰野富士山麓、御在所岳他、企業の森の一部において約50張以上を設置し植樹をしてまいりました。



山の斜面一面に設置したもの



今回は、菰野富士山麓に設置したパッチディフェンスの経年変化について報告させていただきます。

左の写真は、樹木草本を取り除き地表を露出させた約4年前の設置後の状況です。

右の写真は、植栽をせずに放置しておいたパッチディフェンスの現在の状況です。

パッチの内側では4年の間に種々の実生が成長しており、高いものでは3mを超える高さに育ち、外からは地表が見えないくらいに繁茂しており、狭いエリアですが樹種も20種類を超えていました。また、パッチの外側に目を転じるとおそらく鹿の食害の影響だと判断される明らかな違いがお分かりいただけると思います。



設置直後の状況



別のパッチディフェンスの状況
内側と外側の状況がよくわかります



現在の場状況(パッチ内除草後)

**2022
まちのきこり人
育成講座
開催のおしらせ**

「2022まちのきこり人育成講座」の予定が決まりました。
例年通り、4月からの開催となります。(基礎編は3月実施です。)
ご応募、お問い合わせお待ちしております。

◇まちのきこり人育成講座2022◇

導入編 3/13(日)「森林の風」フィールドへようこそ

森林への思い!／近隣の里山を歩き、これから森づくりについて考える。
三重県内外の若手林業家と、林業の未来について考える。 (参加自由)

第1回 4/10(日) きこり体験

のこぎりを使って木を伐る。木の伐り方、倒し方、枝打ちなど。

第2回 4/17(日) 森を測る

森づくりの第1歩。コンパス測量、標準地調査と選木、森林のデータ化。

第3回 4/24(日) チェンソーに触れる

チェンソーの取扱い、メンテナンス、安全・危険を学び、実際に伐ってみる。

第4回 5/15(日) チェンソーで伐る①

水平切り・受け口・追い口を徹底的に練習していただきます

第5回 5/22(日) チェンソーで伐る②

実際の立木を伐倒、玉切り、枝払い、特訓(チェンソーワークの体得)。

第6回 5/29(日) チェンソーで伐る③

伐倒・掛木処理等、道具の説明。搬出デモ。

第7回 6/12(日) 安全・救命講習

森林整備での健康管理、危険な植動物の学習。及び、救急救命等を行います。

★ チェンソー講習修了証を発行します

※ 申込詳細につきましては、ホームページからダウンロードできます。

また、お問い合わせは、担当、上林まで。

携帯090-6590-0011 E-Mail uebayasi@dd.iieu.or.jp

◎この事業は、公益財団法人イオン環境財団様の助成により行っております。



新型コロナ感染症対策について

- 講座受付時には、当日の体温等の確認をさせていただきます。
- 座学時にはマスクの使用をお願いします。
- 消毒液等につきましては、森林の風でご用意させていただきます。

認定NPO法人《森林の風》からのお知らせ

レベルアップ研修会のご案内



造林技術研究所代表
横井 秀一 先生

◆12月5日(日) 第2回 レベルアップ研修会

造林技術研究所代表で岐阜県立森林文化アカデミー特任教授も務められている横井秀一先生をお招きして、「広葉樹の森づくり」についてご講義していただきます。横井先生は、飛騨市の「広葉樹のまちづくり推進アドバイザー」も務められており、いろいろな事例を含めてお話しいただけると思います。是非、ご参加ください。

詳細は、ホームページ等をご参照ください。

◆1月中旬 第3回レベルアップ研修会

第1回のレベルアップ研修会で見学に伺った西山商会にお願いして「出張刃物研ぎ講座」をお願いする予定です。刃物研ぎだけでなく、土佐打刃物についてもいろいろとお話していただこうと思っています。

乞うご期待 !!

◆2月中旬 第4回レベルアップ研修会

今年度最後のレベルアップ研修会となります。例年どおり森林の風とお付き合いのある林業家による「伐木等のテクニックをプロに学ぶ」講習会を開催予定です。



※レベルアップ等、催し物のご案内は、ホームページにて随時紹介してまいります。よろしくお願いします。

森林の風～最新データ～

2021年10月31日現在

◆取組事業総数	31
◆活動フィールド	
人工林	6
里山整備	10
竹林	1
◆フィールド総数	約100ha

2021年度4月から10月の累計

◆活動日数	86日
◆会員延べ参加数	820人
◆延べ受益者数	645人

設立来累計

◆植樹数	約11,700本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を募集!

年会費 (賛助会員)	個人 1口 3,000円 法人 1口10,000円より
特典	年2回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させて頂きます

加入社名：特定非営利活動法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060

通信欄に、おところ・おなまえ
ご連絡先電話番号をご記入ください



2021年度寄付金一覧(10月現在)
アプライドマテリアルジャパン(株) 400,000円

*ご協力ありがとうございました